NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を作ろう

2．学校名

北海道美唄市立峰延小学校

3．実践者名（代表者名）

奈良崎功

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・社会　12人

6．単元（本時の学習課題）名

情報について学ぶ

7．目標(狙い)

調べた情報を分かりやすく伝えると同時に、情報が周りに影響を与えることを知る。

8．評価の視点

自分の考えを明確に表現するとともに、情報による周りの影響を考えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「くらしを支える社会」［5年社会：12時間］
「新聞を作ろう」［総合学習：25時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①情報について考える…　12時間
②新聞の作り方を学習する…　2時間（1回）
③情報を収集する…　2時間（3回）
④集めた情報をもとに新聞を作成する…　5時間（3回）
⑤作った新聞を使い、情報を発信する…　1時間（2回）

（留意点）
・聞き取りの調査をする上で、プライバシーや聞き方に注意する。
・自分の感じたことや考えをしっかりと加えること。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞にはいろいろな記事が書かれていること、最新の技術で作られていることが分かった。一つの事件を記事にするのに、記者の見方で、発信される情報が変わることが分かった。

12．成果と課題

今回の取り組みを通し、情報社会のシステムの一端について学び情報とはどういうものか、どのように対処していくのか、その事を考える大きなきっかけとなった。また、今の子どもたちの活字離れは深刻で、新聞を読ませたくても、なかなか読めない状況がある。しかし、少しずつではあるが、今回の取り組みを通し、少しずつではあるが漢字や言葉の意味を理解できるようになってきた。今後は、いかに長い期間安定して子どもたちに新聞を提供できる環境を作っていくかが大きな課題となる。